

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成25年2月12日
【四半期会計期間】	第52期第3四半期(自平成24年10月1日至平成24年12月31日)
【会社名】	株式会社エンチョー
【英訳名】	ENCHO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 遠藤 健夫
【本店の所在の場所】	静岡県富士市中央町2丁目12番12号
【電話番号】	(0545)57-0850
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 長谷川 英一
【最寄りの連絡場所】	静岡県富士市中央町2丁目12番12号
【電話番号】	(0545)57-0850
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 長谷川 英一
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第51期 第3四半期連結 累計期間	第52期 第3四半期連結 累計期間	第51期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	37,805,789	35,593,515	47,939,139
経常利益(千円)	1,188,234	811,091	1,110,661
四半期(当期)純利益(千円)	590,321	493,614	511,650
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	577,709	496,214	546,281
純資産額(千円)	8,886,540	9,214,410	8,855,016
総資産額(千円)	42,177,153	41,720,442	39,187,937
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	43.14	36.08	37.39
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	21.1	22.1	22.6

回次	第51期 第3四半期連結 会計期間	第52期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	14.40	14.35

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災からの復興需要が下支えするも、世界景気の減速や雇用・所得環境の先行きの不透明感を背景として、依然として厳しい状況が続いております。

ホームセンター業界におきましては、市場規模の横ばい状態が続く中、規模の拡大を進める上位企業を中心に店舗数は増加傾向にあり、飽和状態となっております。

このような状況の中、当社グループは、地域の人々の快適な住まい・暮らしをサポートする企業グループを目指し、既存事業の深耕と成長事業の育成を進め事業基盤の拡大に向けた諸施策を実施するとともに、お客様への一層のサービスの充実に努めました。

販売の状況におきましては、「日々変化するお客様のニーズは売場で具現化する」との考えに基づき、新商品の早期導入など定番商品の活性化による売場改革を推進し、またサービス面におきましても、会員登録されたお客様を対象に配送料無料で商品をお届けする「らくらく宅配サービス」の強化をいたしました。

店舗の状況につきましては、静岡県焼津市にハードウェア専門店「ハードストック焼津」をオープンし、ハードウェア事業の基盤拡大を図りました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年第4四半期にホームセンター1ヶ店を閉店したことや消費低迷による来店客数の減少により、35,593百万円（前年同期比5.9%減）となりました。利益面につきましては、経費削減に取り組んだものの、営業利益は1,044百万円（同26.4%減）、経常利益は811百万円（同31.7%減）、四半期純利益は493百万円（同16.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

ホームセンター事業は、上記と同様の理由により、売上高は32,084百万円（同6.6%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は809百万円（同24.4%減）となりました。

専門店事業は、消費低迷の影響により既存店は低迷したものの、新店が寄与し、売上高は2,704百万円（同0.2%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は店舗増加による人件費の増加等により65百万円（同53.7%減）となりました。

#### （2）財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,532百万円増加し41,720百万円となりました。

流動資産は15,447百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,500百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加2,317百万円によるものであります。固定資産は26,272百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物の減少341百万円、土地の増加129百万円、建設仮勘定の増加442百万円、投資有価証券の減少97百万円、敷金及び保証金の減少110百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,173百万円増加し32,506百万円となりました。

流動負債は17,457百万円となり、前連結会計年度末比514百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の増加2,134百万円、短期借入金の減少2,370百万円、未払消費税等や設備支払手形が増加したことによるその他流動負債の増加886百万円によるものであります。固定負債は15,048百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,658百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加2,007百万円、社債の減少196百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ359百万円増加し9,214百万円となりました。これは主に四半期純利益493百万円、剰余金の配当136百万円によるものであります。この結果自己資本比率は22.1%（前連結会計年度末は22.6%）となりました。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

該当事項はありません。

（5）主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった主要な設備の新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、当第3四半期連結累計期間に著しい変動があったものは、次のとおりであります。

（新規出店）

ホームセンター事業において、前連結会計年度末に計画しておりました「ジャンボエンチョー島田店（仮）」は、完了予定年月を平成25年3月から平成25年4月に変更しております。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,714,995	13,714,995	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	13,714,995	13,714,995	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	13,714,995	-	2,902,954	-	3,435,559

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 32,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,624,000	13,624	-
単元未満株式	普通株式 58,995	-	-
発行済株式総数	13,714,995	-	-
総株主の議決権	-	13,624	-

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社エンチョー	静岡県富士市中央町2丁目12番12号	32,000	-	32,000	0.23
計	-	32,000	-	32,000	0.23

(注) 当第3四半期会計期間末における自己株式数は32,908株であります。

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	リフォーム事業部長兼ハードウェア事業部長	取締役	リフォーム事業部長兼ハードウェア事業部長兼商品統括部担当	小野田 智則	平成24年10月1日
取締役	商品統括部長	取締役	営業企画部担当	岡村 光一郎	平成24年10月1日
取締役	-	常務取締役	営業担当	三浦 和乎	平成24年10月1日

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,310,213	4,627,798
受取手形及び売掛金	951,272	967,688
有価証券	-	100,420
商品	9,052,326	9,198,457
仕掛品	48,229	23,241
貯蔵品	12,785	15,055
繰延税金資産	163,374	88,773
その他	419,191	437,437
貸倒引当金	9,822	11,286
流動資産合計	12,947,571	15,447,585
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,892,863	7,551,130
土地	11,638,683	11,767,769
建設仮勘定	42,632	485,529
その他(純額)	802,069	851,410
有形固定資産合計	20,376,248	20,655,839
無形固定資産	92,167	91,471
投資その他の資産		
投資有価証券	764,145	666,776
長期貸付金	1,485,672	1,457,298
敷金及び保証金	2,491,424	2,381,244
繰延税金資産	373,068	367,722
その他	729,618	721,091
貸倒引当金	71,980	68,587
投資その他の資産合計	5,771,948	5,525,546
固定資産合計	26,240,365	26,272,856
資産合計	39,187,937	41,720,442
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,683,108	8,817,709
短期借入金	7,366,089	4,995,585
未払法人税等	191,547	55,597
その他	2,701,967	3,588,532
流動負債合計	16,942,712	17,457,424
固定負債		
社債	1,155,600	959,000
長期借入金	8,936,115	10,943,517
退職給付引当金	827,381	825,680
資産除去債務	275,196	279,515
その他	2,195,913	2,040,894
固定負債合計	13,390,208	15,048,607
負債合計	30,332,920	32,506,032



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,902,954	2,902,954
資本剰余金	3,435,559	3,435,559
利益剰余金	2,498,542	2,855,336
自己株式	14,584	14,584
株主資本合計	8,822,470	9,179,265
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,545	35,145
その他の包括利益累計額合計	32,545	35,145
純資産合計	8,855,016	9,214,410
負債純資産合計	39,187,937	41,720,442

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	37,805,789	35,593,515
売上原価	26,982,657	25,531,465
売上総利益	10,823,132	10,062,050
営業収入	831,813	858,778
営業総利益	11,654,945	10,920,828
販売費及び一般管理費	10,236,205	9,876,328
営業利益	1,418,740	1,044,500
営業外収益		
受取利息	28,708	26,828
受取配当金	10,686	11,473
その他	41,234	48,854
営業外収益合計	80,629	87,156
営業外費用		
支払利息	249,496	230,364
シンジケートローン手数料	26,196	64,985
その他	35,442	25,214
営業外費用合計	311,135	320,564
経常利益	1,188,234	811,091
特別利益		
受取保険金	8,392	-
特別利益合計	8,392	-
特別損失		
減損損失	1,049	-
出店計画中止損失	4,761	-
店舗移転損失	3,773	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	47,553	-
災害による損失	18,900	-
投資有価証券評価損	21,237	-
特別損失合計	97,275	-
税金等調整前四半期純利益	1,099,351	811,091
法人税、住民税及び事業税	396,683	236,199
法人税等調整額	112,346	81,277
法人税等合計	509,029	317,476
少数株主損益調整前四半期純利益	590,321	493,614
四半期純利益	590,321	493,614

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	590,321	493,614
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	12,612	2,599
その他の包括利益合計	12,612	2,599
四半期包括利益	577,709	496,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	577,709	496,214
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更】

( 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更 )

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

( 四半期連結貸借対照表関係 )

1 偶発債務

保証債務

下記の連結会社以外の会社の金融機関よりの借入に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
(有)THエンタープライズ	270,000千円	(有)THエンタープライズ 270,000千円

( 四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係 )

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	672,303千円	619,745千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月23日 取締役会	普通株式	68,414	5.00	平成23年3月31日	平成23年6月22日	利益剰余金
平成23年10月28日 取締役会	普通株式	68,411	5.00	平成23年9月30日	平成23年12月5日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月28日 取締役会	普通株式	68,410	5.00	平成24年3月31日	平成24年6月11日	利益剰余金
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	68,410	5.00	平成24年9月30日	平成24年12月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ホームセン ター事業	専門店 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,340,659	2,699,519	37,040,178	765,610	37,805,789	-	37,805,789
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4,853	-	4,853	826,752	831,605	831,605	-
計	34,345,512	2,699,519	37,045,031	1,592,363	38,637,395	831,605	37,805,789
セグメント利益	1,070,417	141,022	1,211,440	105,789	1,317,230	101,510	1,418,740

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、木材卸売事業及び情報処理・プログラム開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

利益	金額
セグメント間取引消去	474
全社費用の配賦額の予算実績差異	101,036
合計	101,510

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失

(単位:千円)

	ホームセンター事業	専門店事業	合計
減損損失	1,049	-	1,049

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ホームセン ター事業	専門店 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,084,362	2,704,111	34,788,473	805,042	35,593,515	-	35,593,515
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1,440	-	1,440	789,886	791,326	791,326	-
計	32,085,802	2,704,111	34,789,913	1,594,929	36,384,842	791,326	35,593,515
セグメント利益	809,148	65,347	874,496	134,738	1,009,234	35,265	1,044,500

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、木材卸売事業及び情報処理・プログラム開発事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

利益	金額
セグメント間取引消去	2,018
全社費用の配賦額の予算実績差異	33,247
合計	35,265

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	43円14銭	36円08銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	590,321	493,614
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	590,321	493,614
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,682	13,682

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

第52期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当については、平成24年10月31日開催の取締役会において、平成24年9月30日現在の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

(1) 配当金の総額 68,410千円

(2) 1株当たり配当額 5円00銭

(3) 効力発生日 平成24年12月5日

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月12日

株式会社エンチョー  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松本 正一郎 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 谷口 公一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エンチョーの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エンチョー及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。